

令和6年度第1回 八尾市立歴史民俗資料館運営委員会（概要）

開催日時：令和6年7月24日（水）14：00～15：00

開催場所：八尾市立高安コミュニティセンター2階 会議室

【出席者】

参加委員：学識経験者2名（欠席3名）・市民代表1名（欠席1名）・その他関係者1名
：計4名

森田克行委員・植村和代委員・亀甲知之委員・川村美由紀委員

欠席委員：藤井弘章委員・黒田一充委員・浅見 緑委員・角倉泰子委員

指定管理者：株式会社小学館集英社プロダクション(船曳館長・岩川氏)：計2名

事務局：西澤観光・文化財課長、井上観光・文化財課参事兼課長補佐、新堂観光・文化財課主幹、藤井文化財係長、樋口主査：計5名

【議事録】

1. 開会 あいさつ（事務局）

2. 委員長および副委員長の選任について

委員互選の結果、森田委員を委員長に、植村委員を副委員長に選任した（任期：令和8年5月31日まで）。

委員長就任あいさつの後、委員長進行のもと、案件について意見交換が行われた。

3. 令和5年度の事業報告等について

事務局から、令和5年度の事業報告を行った。内容にかかわる部分についての主な意見及び質問は以下のとおり。

【事業関係】

○入館者数が令和4年度、令和3年度と比べ、大きく減っている。LED工事や年度末の休館によるものか。もしくはまだコロナの影響があるのか。原因を分析しているか。

⇒・休館日が多かったのも若干影響していると思われるが、新指定管理者への事業引継ぎ準備のため企画展、イベント等を12月までに終わらせたのと、最も出前授業の要請の多い1～3月に前出授業をしなかったことが要因の一つと思われる。

・学校のカリキュラムが変更になり、他施設でも学校の来訪が大幅に減っている。学校の来訪件数が少ないのも要因の一つであると思われる。

○出前授業は学校からの要請があって出向くのか。資料館が出前授業を行うというキャンペーンのようなものを行って、アピールしているのか。

⇒・学校の要請を受けて出前授業を行っている。出前授業のメニューについては、校長会で説明したり、ホームページに掲載していたが、先生方の口コミで要請が来ることが多い。

○学校対策として、企画展の内容を学校教育と連動させるのもよいかもしれない。

○新規事業の「みなさまへ感謝デー」を引き続き行ってほしい。

⇒・観覧料を無料としている「資料館へ行こう！」は引き継いで行っている。

○新指定管理者として今年度の活動状況について知りたい。また、前指定管理者から引き継ぐ事業などはあるか。

⇒・今年度は指定管理期間の初年度であり、展示を中心に事業を行っていく予定である。

展示以外の事業を本格的に行うのは来年度以降を考えている。前指定管理者の事業の良いところを引継ぎ、また新しい学芸員により新規事業も行っていきたい。

○大変だと思いががんばってほしい。新しい学芸員によって新しい企画や事業を展開し、指定管理者が交代したことがプラスになるようにしていただきたい。

○河内木綿を継承していくうえで、子供の時期に、綿を一から育てる実体験は重要である。

財団では、綿の学習をしっかりと行ってきた。ぜひ事業を続けてほしい。

⇒・開館以来、綿の栽培や体験学習などを継続して行ってきた。今後も引き続き行っていきたい。新学芸員は綿の栽培など初めてのことばかりであるが、職員総出で体験農園の運営を行っている。

【その他報告】

- ・次回運営委員会は、2月ごろを予定していること、内容は、令和7年度の事業計画であることを報告した。

以上